職場紹介

日本ゼオン株式会社　環境資材事業部

日本ゼオン㈱　永見　浩

はじめに

日本ゼオンの名前をお聞きになって、「ゼオン」は何の意味だろうか何のことだろうかと疑問をもたれた方が多いことと存じます。弊社は株式市場の分類でも見られるように化学分野の製造業です。一言に製造業と言っても、例えば薬などのように顧客に直結する製品を作る会社やその製品の半製品を製造する会社、さらに川上に上って原材料を製造する会社などに分類することができます。弊社はその中でも特に川上である原材料を製造することを得意とする会社です。このためテレビや新聞などのマスコミで弊社の宣伝・コマーシャルを行っていることはありません。したがって、一般の方々にはあまり知られることはありません。会社の名前の由来もゼオンとはいってますが、大地を示す「ジオ」と永遠を示す「イオン」とを組みあわせて「ゼオン」と呼んでいただくことになっています。「ゼオン」そのものの発音はあっても意味を有す単語はありませんが、近い言葉として観世音菩薩の世音があります。しかし、これに依拠していることはありません。このようなジオをもじった会社名というのは非常に少ないと考えます。最近の 20 年ほどジオという言葉が定着してきていますが弊社が誕生した 50 年前はほとんどジオという表現はありませんでした。弊社は比較的早くジオ大地に着目したことは社員として誇りに想うところです。

環境問題

環境資材事業部では 1980 年頃にリサイクルプラスチックの擬木、及び法枠を取り扱うことによって環境事業分野に参入しました。これは弊社工場から出てくる廃プラスチックの有効利用を考えた対策のひとつです。ちょうど石材が少なくなってきていた時期で、墓石が急騰していました。このためプラスチック製の岩すなわち擬岩が市場に登場してきた時期でもありました．特に擬岩をヒントにしたわけでもありませんが、建設業関係の方からのアドバイスも受けて弊社で新しくリサイクルプラスチックの擬木、法枠の開発に乗り出し、環境分野に進出したわけです。この分野は環境分野でもあり、ユーザーを対象とすれば土木分野にもなります．

リサイクルプラスチック分野では擬木関連製品として板材、パネル材も開発しています．最近は天然木のような木質感が強く要求される傾向が出てきていますが、弊社でもリサイクルプラスチックに木粉を混入した擬木やパネルも開発を進めています．

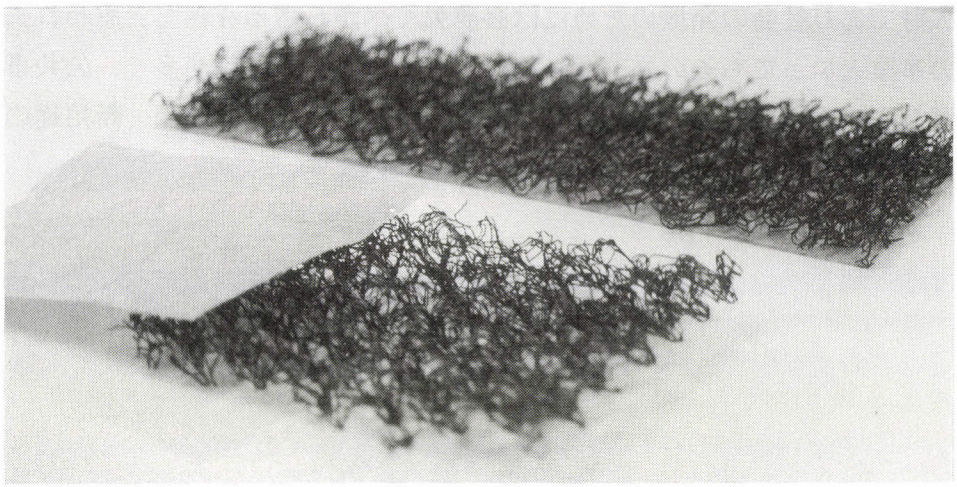
また、弊社は化学が得意な会社であることから最近注目されている排水性舗装分野にもバインダー剤の技術で参画しています。車そのものの快適性が向上している現在、道路に関する快適性が若干遅れている感がありましたが、排水性舗装の登場で安全走行及び快適走行が実現できるようになったものと確信しています。これも約 15 年前から開発を行ない、工場で混合加工するタイプのバインダー；プリミックスタイプと現場で混合加工するバインダー；プラントミックスとの２種類があり、開発を進めてきました．最近は道路の新設だけでなく改修にも用いられることが多くなりましたが、特に高速道路、自動車専用道路での使用が急増してきており、ある意味で

はその分安全性も向上しているものと自負しています。このように道路用バインダー剤は上述のように安全性と快適性を追求する道路へと変身させる製品として提供しています。

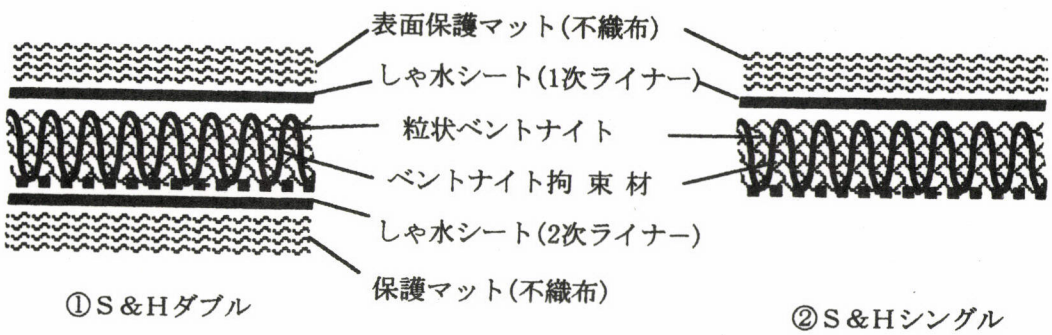
ジオシンセティックス製品

弊社もＩＧＳに入会して約 10 年ですが、早くからジオという大地に着目していた割にはジオ向けの商品は長らくありませんでした。リサイクルのプラスチックを用い製品を開発した 1980 年ころから環境関連資材に着目していましたが、リサイクルプラスチックス製品のユーザーからの要望により現在のジオテキスタイル、ジオグリッドを開発輸入販売を行なうようになりました。現在、弊社で取り扱っているジオシンセティックス製品は、補強盛土工法でよく使用されているジオグリッド（製品名；フォートラック）および軟弱地盤のトラフィカビリティ改良などに使用されているジオウォーブン（製品名；スタビランカ）それに排水材として使用しているジオコンポジッド（製品名；エンカドレン）があります。前２者は以前本誌でも紹介させていただいている製品ですのでここではエンカドレーンについて説明させていただきます。

一般の平面排水材はエンボスタイプのシートを不織布でくるんであり、通水性が必要なジオテキスタイル断面が２分される構造になっているのに対し、弊社の排水材は通水路の確保に立体網状体（フィラメント）を使用しており、断面の全面が通水部分になる特徴を有しています。この平面排水材は、上記の不織布を除いた排水材の通水路部分に粉や粒のベントナイトを配してこれを網状体で拘束することにより遮水層（Ｓ＆Ｈシステム）とする使用方法もあり、単なる排水材だけでなく、各種の用途が考えられているある種オールマイティの製品です。



エンカドレーン



Ｓ＆Ｈシステムの種類

これらのジオシンセチィックスの製品はいずれもコルボンド社からの輸入製品ですが、このように、ユーザーとして同じ土木分野の建設業の方に対し、最初は敷き網や盛土補強材のジオテキスタイル、ジオグリッドを提供し、最近は池や処分場などの遮水シートなどジオメンブレンを提供しています。

環境資材事業部

弊事業部は現在日本ゼオンの第２本社である芝オフィスにあり、営業、設計などの業務の殆どを行なってます。研究、評価などの業務は当社川崎オフィスに常駐しており、製品評価や研究を進めています。前述のリサイクルプラスチック関連製品の開発は主にこの川崎オフィスで行なわれた成果です。

現在、リサイクルプラスチック製品は外部の全国４箇所の協力会社に生産委託しています。日本ゼオンから貸与した製造設備を使用して生産されており、品質の安定化、生産量の確保を図っています.

事業部の技術部隊には土木系学科の出身者が７名在籍しています．他の製造会社では少し見られないような多人数を擁しているものと自負しています．さらに建築系学科出身者も現在３名在籍し、建設業関係で計 10 名在籍していることになります．ジオグリッド、ジオテキスタイルの業務には高度な専門知識が必要なことから、製品知識はもちろん土質についての知識を習得し、現在技術士が１名、技術士補が２名在籍しており、多分このような製品を取り扱っている企業の中では珍しい存在ではないかと考えています。この存在は会社にとって貴重な存在というよりやはり人材、人財であり社会の発展のためには必要欠くべからざる存在だと思われます。

環境分野の事業といってもそのユーザー筋はどうしても土木関係が多く、公共事業費の削減の影響で暗い話が多いようです。われわれ技術部隊は合力し新製品の開発、新用途の開発をおこない、会社へはもちろん社会に貢献したいものと考えています。